

田園地域における滞在型クライנגアルテンの実態と課題

10108114 徳久智哉

1. 研究の背景と目的

1.1 背景

近年、二地域住居や週末田舎暮らし、定年就農などがゆとりや癒しの観点から注目されている。それらを体験できる施設として滞在型クライנגアルテンが挙げられる。この滞在型クライングアルテンは、利用者が反復的に滞在する特徴により都市農村の交流を深める・定住の促進・経済効果を期待することが出来る。しかし、この滞在型クライングアルテンの研究は始まって間もなく、研究データの蓄積に乏しい。

また本研究での滞在型クライングアルテンとは、滞在型の市民農園の事で一般的な市民農園と違い宿泊を前提としており宿泊のためのラウベと呼ばれる小屋がある。そこで利用者は農作業・ガーデニング等を行う形態を有するものである。

1.2 目的

本研究では滞在型クライングアルテンの利用者の意識・年齢層・出身地、また設立の経緯を調査し、実態・課題を明確にして今後の日本における滞在型クライングアルテンの方向性について考察することを主な目的とする。

2. 研究の方法および対象

日本の滞在型クライングアルテンの実態と課題を明らかにする調査として、開設状況の把握・クライングアルテンを選定し管理団体代表者及び利用者を対象にアンケートを行った。二つのクライングアルテンは、日本初のクライングアルテンである坊主山クライングアルテン（以下坊主山）とそれを参考にして関東に作られたクライングアルテン八千代（以下八千代）を選定した。日本のクライングアルテンの開設状況を表 1、調査対象とした滞在型クライングアルテンの概要を表 2 に示す。

日本の滞在型クライングアルテンは 64 施設で、その多くは中部地方に集中しており関東を含むその他の地域には多くは設置されていないことがわかった。

一つのクライングアルテンあたりに平均で 36 の区画が設置されており、その平均面積は 190 m²である。また平均年間利用料金は約 40 万円であった（表 1）。

表 1 日本のクライングアルテンの開設状況

日本の滞在型クライングアルテンの設置数	64			
地方別設置数	北海道	2	東北	4
	関東	5	中部	30
	近畿	13	中国四国	6
	九州	4		
平均設置区画数	36 区画			
平均区画面積	191 m ²			
平均年間利用料	約 40 万円			

八千代は関東にある数少ない滞在型クライングアルテンであり平成 15 年に設置された。区画数は全国平均より少ないが 1 区画当たりの面積は全国平均を大きく上回っている。

一方で坊主山は中部地方の滞在型クライングアルテンであり、平成 5 年に設置された。大きな特徴は区画数・区画面積は全国平均を大きく上回っているが年間利用料金は全国より大幅に安いことである（表 2）。

表 2 調査地概要

調査地	クライングアルテン八千代	坊主山クライングアルテン
開設年	平成 15 年	平成 5 年
調査日	平成 25 年 8 月 24 日	平成 25 年 9 月 22 日 10 月 18 日 10 月 20 日
所在地	茨城県結城郡八千代町大字松本 5 9 2	長野県松本市取出 4 8 1 - 1
全体面積	13,106 m ²	28,552 m ²
区画数	20 区画	52 区画
区画面積	270 m ²	320 m ²
年間契約料金	420,000 円(1 年契約 5 年まで前年度優先契約)	250,000 円(1 年契約 前年 度優先契約)
管理団体	八千代ふるさと公社	四賀むらづくり株式会社



写真 1 クライングアルテン八千代

写真 2 坊主山クライングアルテン